

## その他の解答一覧

生活への影響について、当てはまるものを選択肢から選んでください。

### 【既に生活に影響が出ている】

#### ---患者本人---

- ・在宅勤務と出勤の併用となったり業務調整が難しい。パソコンを持って行ったり持って帰ったりも負担となる。旦那も収入が約半分となり家計が圧迫している。自粛により体力も低下するためオンラインフィットネスを開始してみた。買い物も週末は混雑になるので24時間スーパーにいき週末の早朝や生協なども契約をし工夫をしているが人との会話が少ないため鬱気味になってしまう。
- ・職を探していたが、それどころじゃない感じになってしまった。
- ・体力維持/下肢の拘縮予防として外出などを心がけてはいるものの、今般の感染症流行の影響から外出回数を減らさざるを得ない状況が続いている。
- ・重い物を持つのが難しい病気なので、以前からネットスーパーを利用していたのですが、このご時世で利用者が急増して注文ができない状態が続いています。当たり前前に利用できていたものができなくなり、食品日用品の買い物に工夫が必要になり、場合によっては無理をして買い物に出なければならなくなっています。
- ・外来、買い物、趣味とか社会生活全てにおいて影響が出ています。
- ・感染予防の視点から受診しづらい状況にあり増悪により日常生活が送りづらくなっている。
- ・痛みや疲労感、倦怠感が強く、1日ほとんど寝てる
- ・仕事を変更もしくは退職となるため。
- ・あまり外に出られない。
- ・通院にタクシーを使用するため経済的につらい。今まで普通に買っていたマスク、アルコール消毒が買えなくなった。
- ・買い物や受診ができず、介護も受けられなくなった。
- ・仕事が減った
- ・免疫系の疾患のため、抵抗力が弱く感染リスクが高いと感じてしまい、勤務に出入りする家族との共同生活や自身の勤務への抵抗
- ・収入減！
- ・感染が心配で、仕事に行くのが怖い。
- ・ヘルパーさんが来れてない
- ・自営業（習い事業）で夫婦共に現在、全く仕事がなく、無収入で2ヶ月...生活費、医療費も全て、貯金を切り崩して生活している。
- ・公共交通機関を避けて通勤している
- ・行動が限定的
- ・働き方等、テレワークできない事情もある。収入も減り影響がないわけではない。
- ・感染予防について神経質になってしまう
- ・手洗いや消毒等、もっと気を付けてほしいのに家族の理解が得られない"
- ・今まで通りの生活は送れていないから。
- ・外出自粛しています。
- ・感染する可能性のある行動すべてに敏感になった。
- ・感染が怖いので、外に出かける機会を意識的に減らしている。
- ・営業なので感染を心配した上司から休む様に言われ、特殊休暇を取っている。

### ---患者家族---

- ・発熱すると容易に重積、群発しやすいため、外出自粛に伴う買い物の仕方に苦慮しています。現在、どこのスーパーも混んでいるので、親が感染しないように気をつけていると買い物しにくいです。
- ・既にというよりは、もう何年も自粛生活を続けています。免疫抑制剤を服用していること、生ワクチンが接種出来ないで学校で感染症が出る度に休まざる得ない為です。
- ・買い物してきた食料品を消毒してから冷蔵庫に。家族(子供が勝手に冷蔵庫を開けるので)が罹患しないようにと母が頑張るしかない。楽をして口煩くなると子供がストレスをためることになって再燃するのがこわい
- ・登校ができていない。外来受診ができず、カンニューレ交換ができていない。
- ・休校が続いている。利用している福祉サービスに利用制限が出て自粛せざるを得ない。保護者も福祉系の仕事をしているが、休まざるを得なく、利用者さんに迷惑がかかっている。
- ・買い物等でも外出リスクがあり、運動不足になりやすい
- ・毎日学校で受けてきた教育が継続できていないので、積み上げたものが失われている。(高次脳機能障害もあり、文字や数字やセルフケアやルーティン等を忘れて行ってしまう...等)、体力の低下。
- ・感染リスクのため通勤を控えている
- ・療育や児童発達支援、短期ステイ、リハビリなど全てお休みになりずっと自宅にいるため、寝たきりの我が子に親がしっかり身体を動かしてあげられるか刺激をどれだけ与えてあげられるか心配。

## 【今は影響が出ていないが、今後影響が出る恐れがある】

### ---患者本人---

- ・医療崩壊が起これば、定期的な診察や検査、調剤などに支障がでる可能性がある。症状の増悪時に適切な治療が行えない可能性もある。
- ・タイミングが良く次回の通院は5月下旬にしているが、それまでに通院できる状況になるか分からない。服薬を中止しているため、どんな影響があるかも気になります。
- ・万が一、感染した場合には重篤化して生命に危険が及ぶ為。
- ・大学生なので、授業が今後どうなるかによって通院のタイミングを考えなくてはいけない。欠席することも増えると思う
- ・緊急事態宣言がいつまで続くのか判らないため。
- ・病院へいくさい、どうなるのか 不透明
- ・収入減少がある。今のところ持ちこたえているがこの先続くと生活が厳しい。
- ・経済的な支援が必要なことがあり得るから。
- ・住んでるところはまだ0人、職場がある隣町も1人で住んでますが、これから増える恐れは十二分に。
- ・運動不足や精神的落ち込みからくる体調の悪化が感じられる。買い物や食生活など、手助けしてくれる人との接触が悩ましい。
- ・障害年金だけでは、生活ができず、そうかといってもコロナで家族の収入に先は見えて来ない状況。
- ・自分は診療放射線技師をしており、勤務先で唯一の放射線技師であり、新型コロナ単感染疑いの患者様が出た場合には胸部X線撮影や胸部CTを実施する実施者です。検査実施の際には感染防護をしたうえで行いますが、現在ステロイドと免疫抑制剤の長期服用中で感染のリスクが高いといわれていますので、もし感染した場合には入院-加療が必要になると思われる等、影響が出るものと考えています。
- ・免疫抑制の治療をしているため、学校が始まったら影響が出るかもしれないから
- ・今は薬もあり、何の症状もないので普段通りの生活ができているが、少し具合が悪いとなった時に病院へ行く事を躊躇ってしまう。
- ・生物学的製剤使用により免疫力は低下しているので、やはり感染は怖くて外出ができないので通院以外は家にいる。不安により睡眠が十分に取れず痛みのコントロールができていない。
- ・家族の仕事が減りそう
- ・緊急事態宣言が延期されると、何らかの影響が出ると思っている。
- ・感染リスクが高い為、人の多い場所が怖くて行けない

### ---患者家族---

- ・COVID-19に罹患した場合にどのような症状が出るかがわからない。
- ・免疫抑制剤を飲んでいるので、あまり外出していなかったが、今後もっとコロナが流行してきたらさらに外出しにくくなる
- ・学校再開等になると感染リスクが上がるため

【今後も影響は予想されない】

---患者本人---

- ・既に年金生活者であるため。
- ・ステロイド処方、日頃から感染症対策をしているため、いつもと変わりません
- ・もともと外出が難しい体なので、家族の介護下で生活している。その為、以前からある程度の生活物資もあり当面は困らないと考えている。
- ・地元からほとんど出ない上に、インターネット通販を多く利用している
- ・生命に直結する疾患ではないこと、疾患に対する治療法はまだ無く対症療法しか無いので、通院に関して自身で融通がきくため"
- ・今の所は大丈夫だから。